

2021年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504
 定時株主総会開催予定日 2021年8月24日 配当支払開始予定日 2021年8月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績（2020年6月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	37,474	△0.4	1,210	92.9	915	191.5	546	356.8
2020年5月期	37,619	5.9	627	△43.4	314	△61.1	119	△77.6

(注) 包括利益 2021年5月期 574百万円 (242.3%) 2020年5月期 167百万円 (△71.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	374.54	—	8.8	3.4	3.2
2020年5月期	81.99	—	2.0	1.1	1.7

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 ー百万円 2020年5月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	25,742	6,937	25.2	4,452.30
2020年5月期	27,434	6,392	21.8	4,097.80

(参考) 自己資本 2021年5月期 6,492百万円 2020年5月期 5,975百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	5,298	△856	△3,338	4,264
2020年5月期	363	△803	△309	3,161

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00	29	24.4	0.5
2021年5月期	—	0.00	—	93.00	93.00	135	24.8	2.2
2022年5月期(予想)	—	0.00	—	160.00	160.00		24.6	

3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	41.8	870	206.2	690	466.8	430	682.6	294.89
通期	50,000	33.5	1,880	51.5	1,500	56.9	950	63.4	651.50

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年5月期	1,480,000株	2020年5月期	1,480,000株
2021年5月期	21,832株	2020年5月期	21,778株
2021年5月期	1,458,182株	2020年5月期	1,458,222株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年5月期の個別業績（2020年6月1日～2021年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	35,255	1.2	880	228.3	632	-	420	-
2020年5月期	34,850	7.4	268	△65.3	16	△97.0	7	△98.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	288.30	-
2020年5月期	5.39	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	22,643	5,230	23.1	3,587.23
2020年5月期	24,213	4,839	20.0	3,319.00

(参考) 自己資本 2021年5月期 5,230百万円 2020年5月期 4,839百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 長期の事業戦略	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の地価公示価格平均変動率は、住宅地では9年ぶりの下落、商業地では8年ぶりの下落となりました。

ご参考：2021年地価公示価格平均変動率

名古屋圏全用途 △1.1% (前年 1.9%)

住宅地 △1.0% (前年 1.1%)

商業地 △1.7% (前年 4.1%)

- ・愛知県の新設住宅着工戸数は前年度と比べて17.4%の減少となりました。

ご参考：2020年度愛知県新築住宅着工戸数

全体 53,284戸 (前年度比 17.4%減)

うち、分譲住宅 (一戸建) 10,374戸 (前年度比 23.7%減)

(共同建) 7,242戸 (前年度比 18.8%減)

② 当社の取り組み

- ・商品開発におきましては、当社の岐阜工場を中心とする工業化インフラを活用した独自建材を中心とした開発に注力し、住宅の個と街並みを意識したデザイン性の向上に取り組みました。他社と差別化された商品を評価いただくことにより、利益率の改善に繋がっているものと考えております。
- ・当社及び当社の住宅商品を広く認知いただくために、物件見学や工場見学をオンデマンド配信で行う等、WEBメディアを利用した情報発信を強化するとともに、新しい生活様式への対応としてオンライン商談を促進する等、ネット上でのお客様との接点を増やしてまいりました。
- ・商品住宅として工業化を推進することにより事業工期の短縮を図り、岐阜工場を物流拠点とした配送コストの削減を行う等、コストダウンを進めました。
- ・岐阜県大垣市に土地・建屋を取得し、岐阜第3工場として資材供給体制の強化に着手しました。外部への販売を見据え、更なる投資を行い地域産材を活用した商品開発等、事業拡大に寄与させてまいります。
- ・不動産特定共同事業のクラウドファンディングサイト「信長ファンディング」を開設し、1号商品の運用を2021年1月より開始し、2021年3月には2号商品、2021年4月には3号商品の運用を開始しております。
- ・「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」にナイター照明設備を一部設置いたしました。夕暮れ時でもより多くの方楽しんでいただける環境を整え、顧客満足の向上に一層努めてまいります。

③ 当期の業績

<連結業績>

住宅販売戸数964戸 (前年同期比0.3%増)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期実績	37,474百万円	1,210百万円	915百万円	546百万円
前年同期比	0.4%減	92.9%増	191.5%増	356.8%増

	戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅(新築)
当期実績	964戸	943戸	1棟21戸
前期実績	961戸	945戸	1棟16戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	34,711百万円	1,474百万円	戸建住宅の販売戸数が前年同期比2戸減の943戸となったものの、商品改善を進めて他社との差別化を図った結果、販売単価、利益率が上昇し、売上高及び利益が増加。
前年同期比	3.8%増	45.9%増	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	2,050百万円	432百万円	緊急事態宣言を受け、「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」を臨時休業したことにより売上高が減少したものの、ナイター設備の設置等により、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」とともに来場者数が増加し利益が増加。
前年同期比	6.2%減	34.1%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	888百万円	44百万円	収益型不動産の販売により利益が増加（前年同期は△27百万円のセグメント損失）。
前年同期比	15.4%減	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	20百万円	6百万円	宅地販売が減少し、売上高が減少。
前年同期比	98.0%減	77.3%減	

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として、前連結会計年度と比較し1,691百万円減少し、25,742百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

負債合計は、借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度と比較し2,236百万円減少し、18,805百万円(前年同期比10.6%減)となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較して545百万円増加し、6,937百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益の増加に加え、たな卸資産が減少したことを主な要因として5,298百万円の収入(前年同期は363百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として「岐阜第3工場」の設備投資による有形固定資産の取得による支出等により、856百万円の支出(前年同期比6.5%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により、3,338百万円の支出(前年同期比978.2%増)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,103百万円増加し、当連結会計年度末残高は4,264百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

キャッシュ・フロー指標のトレンドは次のとおりであります。

	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
自己資本比率(%)	26.0	25.1	21.5	21.8	25.2
時価ベースの 自己資本比率(%)	15.2	23.1	13.3	9.0	12.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	11.6	—	—	47.7	2.7
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	4.0	—	—	1.1	18.1

自己資本比率=自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率=株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率=有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ=営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3 2018年5月期および2019年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率ならびにインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

① 市場環境

- ・米国の住宅需要の高まりや、欧米におけるコンテナ滞留の影響により引き起こされた木材価格の高騰、供給不足『ウッドショック』により新設住宅着工戸数の減少や住宅価格の高騰が懸念されております。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動は、ワクチンの普及に伴い、緩やかに回復していくものと考えております。
- ・当事業の主力エリアである愛知県の2021年1月～5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比で2.6%減少しており、依然として減少傾向にあります。在宅勤務の増加や、外出自粛によって自宅時間が増える中で住宅環境を見直す動きがあり、住宅市況は好調ではあるもののウッドショックの影響により、新設住宅着工戸数は引き続き減少するものと予想しております。

② 当社の状況と取り組み

- ・引き続き商品開発に注力し、当社の商品性を消費者に認めていただけるよう、無垢建材によるインテリアの開発や自社開発の木製外壁材「ウォールウッド」に加え、従来のアルミサッシと比べ気密性・断熱性の高い木製サッシ「ウィンドウウッド」の開発を行い、デザイン・性能共に他社との差別化をより一層図ってまいります。
- ・販売においては、IT戦略を軸に、オウンドメディアの強化等デジタルマーケティングへ引き続き投資してまいります。住宅のルームツアーや工場見学会をYouTubeの動画配信で行う等、オンライン上での情報発信強化に努め、当社住宅に興味を持っていただけるよう取り組んでまいります。
- ・ウッドショック下ではありますが、岐阜工場を中心とした地域の国産材流通ネットワークを活用し、住宅建材の安定した供給を進めてまいります。
- ・生活様式が変化する中で、住まいの在り方も変化が求められていると感じております。その変化に対応すべく、家族それぞれの時間を大切にする「新しい家族のつながり」を提案する新商品「新家族」の住宅展示場を守山区にオープンいたします。工業化による規格型戸建商品を積極的に展開することで、注文戸建住宅市場でのシェア獲得を目指します。
- ・新型コロナウイルス感染症流行の中、3密が回避できるゴルフの人気の高まっており、若者ゴルファーも増加しております。「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」および「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」では引き続き感染予防対策を徹底して、幅広い世代の利用者に対応したサービス提供に努めてまいります。

2022年5月期(2021年6月1日から2022年5月31日まで)の業績に関しましては、売上高は50,000百万円(前年同期比33.5%増)、営業利益は1,880百万円(前年同期比51.5%増)、経常利益は1,500百万円(前年同期比56.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は950百万円(前年同期比63.4%増)を予定しております。

(5) 長期の事業戦略

当社は、社会利便価値を創出し、正当な利益を追求することはもとより、地球上に存在し、地球の恩恵を受けている企業として、『地球を蘇らせる』という義務をマネジメントの中心に位置づけており、地球最適という考え方をコアに、企業の継続的な発展生存を『環境とDX』というテーマで、成長を図りたいと考えています。

当社は、2010年より自社物件の構造材の国産材化を進めてまいりました。環境理念と経済性が適正に作用し、当事業年度の後半から起きた『ウッドショック』の影響は僅かであり、むしろこの状況を事業チャンスと捉え、2029年の長期計画目標に向けて、国産資源の有効利用、循環型経済を発展的に推進する所存です。

現在の住宅事業に関連する全ての枠組みを『森林資源カスケード事業』と位置付け、コンストラクション部門、不動産開発部門、資源開発部門の事業部門を3分類し、技術革新と投資を進める計画です。また、当事業年度より進めている『アセット事業』を独自進化させます。

日本の社会には、高度な科学技術に基づく産業とともに、国内資源を活用した環境に優しい産業が求められており、その一端を担ってまいりたいと考えております。

(2029年度達成目標の事業計画への要件整備)

ゴール到達のため、現況事業の発展拡大に応じた計画（研究費、専門性高度人材、外部機関とのアライアンス等）を達成していきたいと考えております。

2029年達成目標の長期事業計画 環境 と DX

●木質資源カスケード事業

《2,100億円》

(1,600億円)

コンストラクション

・木造建築 施工面積目標...MAX 440,000㎡/年 (110㎡住宅換算 4,000棟相当)

不動産開発

・住宅 (自社分譲分 2,000棟) ・非住宅木造 (公共建築物、オフィス、商業、工場倉庫等)

資源開発(環境、森林資源の利用)

(500億円)

・素材生産(製材、集成材) ・プレカット構造材 ・針葉樹建材 ・木製サッシ ・木造プラットフォーム ・バイオケミカル

●アセット事業

・開発デベロッパー ・運営プロパティ ・ファンド組成 ・環境ファンド(木造都市、商業) ・信長ファンド ・森林ファンド

WOOD FRIENDS

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,169,359	4,538,741
完成工事未収入金	44,367	49,644
売掛金	279,798	368,642
販売用不動産	9,644,488	7,988,200
仕掛販売用不動産	7,189,997	5,265,398
商品及び製品	305,904	443,074
未成工事支出金	1,415,168	1,420,220
仕掛品	153,194	226,124
原材料	116,189	157,527
その他	445,632	567,970
流動資産合計	22,764,099	21,025,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,488,485	3,876,517
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,514,479	△1,703,101
建物及び構築物(純額)	1,974,006	2,173,416
機械装置及び運搬具	1,239,073	1,282,613
減価償却累計額及び減損損失累計額	△705,184	△854,226
機械装置及び運搬具(純額)	533,889	428,386
土地	427,105	509,197
コース勘定	986,324	989,875
減価償却累計額及び減損損失累計額	△602,088	△657,258
コース勘定(純額)	384,236	332,616
リース資産	1,212,019	1,200,441
減価償却累計額及び減損損失累計額	△810,232	△816,661
リース資産(純額)	401,787	383,779
建設仮勘定	171,103	150,985
その他	227,756	225,617
減価償却累計額及び減損損失累計額	△168,475	△188,664
その他(純額)	59,280	36,953
有形固定資産合計	3,951,408	4,015,336
無形固定資産	125,971	111,557
投資その他の資産		
投資有価証券	2,349	2,185
繰延税金資産	152,748	156,934
その他	437,732	431,133
投資その他の資産合計	592,831	590,253
固定資産合計	4,670,211	4,717,147
資産合計	27,434,310	25,742,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,534,628	1,801,785
買掛金	283,903	600,148
1年内償還予定の社債	214,000	280,000
短期借入金	11,927,222	8,159,875
1年内返済予定の長期借入金	1,702,612	1,475,639
リース債務	12,754	10,640
匿名組合預り金	—	125,400
未払法人税等	73,144	251,628
賞与引当金	112,712	198,664
完成工事補償引当金	121,329	121,352
その他	627,281	654,845
流動負債合計	16,609,588	13,679,980
固定負債		
社債	404,000	849,000
長期借入金	2,717,051	2,929,384
リース債務	355,344	344,471
退職給付に係る負債	2,691	3,314
役員退職慰労引当金	164,601	160,734
資産除去債務	30,588	30,796
その他	758,279	807,567
固定負債合計	4,432,556	5,125,268
負債合計	21,042,145	18,805,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,453,845	5,970,827
自己株式	△41,762	△41,871
株主資本合計	5,976,165	6,493,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△834
その他の包括利益累計額合計	△669	△834
非支配株主持分	416,670	445,239
純資産合計	6,392,165	6,937,443
負債純資産合計	27,434,310	25,742,692

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	37,619,053	37,474,898
売上原価	33,392,305	32,546,377
売上総利益	4,226,747	4,928,520
販売費及び一般管理費		
役員報酬	138,688	123,917
給料及び手当	743,921	774,609
雑給	209,817	199,099
賞与引当金繰入額	50,985	106,035
役員退職慰労引当金繰入額	10,253	11,079
販売手数料	624,462	646,686
広告宣伝費	573,037	647,629
完成工事補償引当金繰入額	52,046	57,985
その他	1,196,258	1,151,241
販売費及び一般管理費合計	3,599,471	3,718,284
営業利益	627,276	1,210,236
営業外収益		
受取利息	1,865	1,561
受取配当金	100	89
受取手数料	18,194	17,432
補助金収入	6,657	5,603
助成金収入	—	8,773
奨励金収入	5,677	7,568
解約違約金収入	2,600	—
その他	24,608	14,615
営業外収益合計	59,704	55,643
営業外費用		
支払利息	334,577	294,672
社債発行費	1,438	13,178
資金調達費用	20,741	25,656
その他	16,134	16,796
営業外費用合計	372,891	350,303
経常利益	314,088	915,576
特別利益		
固定資産売却益	—	299
助成金収入	—	42,648
特別利益合計	—	42,948
特別損失		
固定資産除却損	536	26,598
減損損失	11,164	—
臨時休業による損失	35,496	72,790
特別損失合計	47,196	99,389
税金等調整前当期純利益	266,891	859,135
法人税、住民税及び事業税	104,065	288,605
法人税等調整額	△5,356	△4,185
法人税等合計	98,708	284,419
当期純利益	168,183	574,715
非支配株主に帰属する当期純利益	48,630	28,569
親会社株主に帰属する当期純利益	119,552	546,146

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益	168,183	574,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△354	△164
その他の包括利益合計	△354	△164
包括利益	167,828	574,551
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	119,198	545,982
非支配株主に係る包括利益	48,630	28,569

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	279,125	284,956	5,472,823	△41,762	5,995,143
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			119,552		119,552
剰余金の配当			△138,531		△138,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△18,978	—	△18,978
当期末残高	279,125	284,956	5,453,845	△41,762	5,976,165

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△315	△315	368,040	6,362,868
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				119,552
剰余金の配当				△138,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△354	△354	48,630	48,275
当期変動額合計	△354	△354	48,630	29,297
当期末残高	△669	△669	416,670	6,392,165

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	279,125	284,956	5,453,845	△41,762	5,976,165
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			546,146		546,146
剰余金の配当			△29,164		△29,164
自己株式の取得				△109	△109
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	516,982	△109	516,872
当期末残高	279,125	284,956	5,970,827	△41,871	6,493,037

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△669	△669	416,670	6,392,165
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				546,146
剰余金の配当				△29,164
自己株式の取得				△109
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△164	△164	28,569	28,405
当期変動額合計	△164	△164	28,569	545,277
当期末残高	△834	△834	445,239	6,937,443

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	266,891	859,135
固定資産除却損	536	26,598
減価償却費	511,964	509,663
減損損失	11,164	—
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△8,388	22
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,015	85,951
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,242	1,518
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,253	△3,867
受取利息及び受取配当金	△1,965	△1,650
支払利息	334,577	294,672
売上債権の増減額(△は増加)	156,754	△94,121
たな卸資産の増減額(△は増加)	162,132	3,324,396
前渡金の増減額(△は増加)	130,652	△143,306
未収入金の増減額(△は増加)	△6,655	63,596
仕入債務の増減額(△は減少)	△714,095	583,403
未成工事受入金の増減額(△は減少)	7,895	48,330
未払金の増減額(△は減少)	△28,530	20,630
未払費用の増減額(△は減少)	△4,093	17,006
預り金の増減額(△は減少)	△3,941	△3,280
匿名組合預り金の増減額(△は減少)	—	125,400
補助金収入	△6,657	△5,603
助成金収入	—	△51,421
その他	42,134	△20,984
小計	827,371	5,636,088
利息及び配当金の受取額	1,965	1,650
補助金の受取額	6,657	5,603
助成金の受取額	—	51,421
利息の支払額	△328,475	△293,405
法人税等の還付額	16,590	58,728
法人税等の支払額	△160,873	△161,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,236	5,298,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	300
有形固定資産の取得による支出	△658,764	△538,490
無形固定資産の取得による支出	△65,270	△38,878
差入保証金の差入による支出	△29,152	△7,254
定期預金の預入による支出	△2,500	△268,100
その他	△48,146	△3,687
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803,833	△856,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,177,071	16,217,786
短期借入金の返済による支出	△18,914,071	△19,985,134
長期借入れによる収入	2,381,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△3,667,292	△2,014,639
社債の発行による収入	148,561	775,000
社債の償還による支出	△244,000	△289,000
リース債務の返済による支出	△52,580	△12,986
自己株式の取得による支出	—	△109
配当金の支払額	△138,315	△29,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,627	△3,338,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△750,225	1,103,680
現金及び現金同等物の期首残高	3,911,282	3,161,056
現金及び現金同等物の期末残高	3,161,056	4,264,737

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、原則として商品・サービス別に区分された事業部および連結子会社から構成されており、事業展開を行っております。

したがって、当社グループは事業部および連結子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「住宅事業」および「余暇事業」および「都市事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と一致しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高または振替高は市場実勢価格にもとづいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の事業(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表計上額
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,432,509	2,184,275	987,108	36,603,893	1,015,159	37,619,053	—	37,619,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,342	63,166	64,508	5,944	70,452	△70,452	—
計	33,432,509	2,185,617	1,050,274	36,668,402	1,021,104	37,689,506	△70,452	37,619,053
セグメント利益又は損失(△)(注)3	1,010,635	322,859	△27,750	1,305,744	29,011	1,334,755	△707,479	627,276
セグメント資産(注)4	20,338,297	3,004,913	850,850	24,194,062	460,872	24,654,934	2,779,376	27,434,310
その他の項目(注)5								
減価償却費	264,964	234,215	20	499,201	1,422	500,623	11,341	511,964
減損損失	11,164	—	—	11,164	—	11,164	—	11,164
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	256,316	853,058	—	1,109,374	—	1,109,374	8,516	1,117,891

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△707,479千円には、セグメント間取引消去17,548千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△725,028千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、親会社での余資運用資金(現金預金)および管理部門に係る資産等であります。

5 有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額は、本社部門に係る設備への設備投資額であります。

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の事業(注) 1	合計	調整額(注) 2	連結財務諸表計上額
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,568,239	2,049,391	836,787	37,454,419	20,478	37,474,898	—	37,474,898
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,680	874	52,113	196,668	—	196,668	△196,668	—
計	34,711,920	2,050,266	888,901	37,651,087	20,478	37,671,566	△196,668	37,474,898
セグメント利益(注) 3	1,474,860	432,934	44,240	1,952,034	6,593	1,958,628	△748,392	1,210,236
セグメント資産(注) 4	18,004,475	2,234,683	841,519	21,080,678	5,859	21,086,537	4,656,155	25,742,692
その他の項目(注) 5								
減価償却費	260,051	238,875	640	499,567	—	499,567	10,096	509,663
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	402,241	159,274	5,350	566,866	—	566,866	16,182	583,048

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収入、その他賃貸収入等が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△748,392千円には、セグメント間取引消去17,767千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766,159千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、親会社での余資運用資金(現金預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 5 有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額は、本社部門に係る設備への設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報は、「セグメント情報」の「3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報」の「その他の項目」に記載をしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額および未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	4,097.80円	4,452.30円
1株当たり当期純利益金額	81.99円	374.54円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,392,165	6,937,443
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	416,670	445,239
(うち非支配株主持分(千円))	(416,670)	(445,239)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,975,495	6,492,203
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,458,222	1,458,168

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	119,552	546,146
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	119,552	546,146
期中平均株式数(株)	1,458,222	1,458,182

(重要な後発事象)

該当事項はありません。